

# 署名にご協力をお願いします

## 明治の検疫を今に伝える歴史遺産

### “旧一号停留所”が存続の危機!!

### 国・市に届けようみんなの声!!

#### どこにあるの？

横浜市金沢区長浜にある横浜検疫所輸入食品・検疫検査センターの奥にひっそりたたずんでいる古い木造の建物が旧長濱検疫所一号停留所です。検疫資料館として年一回、一般公開され、見学された方も多いのではないでしょうか。



#### いつできたの？

明治28年に長濱検疫所が開設されて以来、関東大震災、第2次世界大戦という時代の大きな荒波を乗り越え、今に至っています。

#### どんな役目をしたの？

一号停留所は、海外から日本に到着した船内で感染症が発生したとき、一・二等船室の利用者で感染しているかも知れない人を一時的に留め置く施設でした。

#### なぜ重要ななの？

同時期に神戸、長崎、下関、函館などにも検疫所が開設されましたが、当時の建物で現存するのはこの一

号停留所のみで、日本の検疫史にとって重要な記念碑です。

また、宿泊用の建物としても、建築史的価値は箱根の富士屋ホテル・日光金谷ホテル・奈良ホテルにも匹敵すると評価され、登録有形文化財に指定されています。

さらに、長濱検疫所開設に伴って任用された野口英世が着任直後に感染症(ペスト)の横浜上陸阻止につながる仕事をしており、野口英世の医学的業績にゆかりがある国内唯一の現存建物です。

#### 一号停留所は解体・資料散逸の危機にあるって？

しかし令和4年、横浜検疫所がみなとみらいに集約されるのに伴い、輸入食品・検疫検査センターが長浜から移転することになっており、その敷地内に現存する旧長濱検疫所一号停留所(検疫資料館)と保存資料の存続が危ぶまれています。

#### 保存の署名にご協力を

日本の検疫の歴史を今に伝える貴重な建物が取り壊されることなく、コロナ禍という今にあって、次の世代につなげていくため、国・市に旧長濱検疫所一号停留所(検疫資料館)の保存を強く要望するものです。皆様の賛同をいただき、署名にご協力をいただきますよう、よろしくお願い致します。

NPO法人野口英世よこはま顕彰会

メール: [noguchi.hozonkai@gmail.com](mailto:noguchi.hozonkai@gmail.com)

H P: <http://noguchihideyo.web.fc2.com/>

R2.9.13